

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	増子 俊哉、渡辺 祐子
実施期間	2025年2月3日(月)～2月7日(金)
実施場所	カンボジア プノンペン市 国立技術訓練大学 (NTTI)
研修	技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)
実施職種	電気系保全2級

2025年3月

結果概要

1. 対象者数：SET 評価者数 6名 / 評価者認定合格者数 6名
受検者数 6名 / 合格者数 2名

2. 日程

日時	指導内容
2月3日(月) 8:30~16:00 (全て現地時間)	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 08:30~ ・開講式 09:30~ ・試験実施要領の説明<<Assessor +Examinee>> Assessor による Examinee への事前教育状況の確認 ① PLC の操作方法 ② 盤の配線方法 ③ 学科試験内容 ほか 11:30~ [昼休憩] (以降 Assessor のみ) 12:30~ ・スケジュール説明 ・過去2回のSETの問題点の確認とその対策 ・2024年度チーフ指名 他 14:30~ ・チェックシートの説明と自己評価欄への各自記入 ・事前に記入した履歴書及び評価者認定申請書の内容確認 ・評価者講習修了書のコピー回収
2月4日(火) 8:30~16:00	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 08:30~ ・課題1の配線(8台…Assessor7+講師1) ※練習用 11:30~ [休憩] 12:30~ ・2023年課題1プログラム作成練習
2月5日(水) 8:30~16:00	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 08:30~ ・前日の課題1練習盤配線ばらし ・課題2内容確認(課題設定) ・課題2の配線(8台) ・不良の線作成 ・リレーとタイマの準備 ・支給品準備 ・電気盤、機材の清掃点検(8台) ・試験問題封印 ・会場準備 など ※Examinee6人+予備2台 ※途中11:30頃~ [昼休憩] 15:30~ ・運営最終確認

<p>2月6日(木) 8:30~16:00</p>	<p>【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】</p> <p>08:30~ ・実技試験準備 ・受検者受付 ・試験説明</p> <p>09:30~ ・課題1実施(標準:10:20/打切:10:30)</p> <p>10:30~ ・課題2準備・休憩</p> <p>10:45~ ・課題2実施(標準:11:15/打切:11:35)</p> <p>11:45~ [昼休憩]</p> <p>12:45~ ・学科試験準備 ・試験説明</p> <p>13:15~ ・学科試験(100分/13:45~退出可)</p> <p>※アンケート:Examineeのみ</p> <p>15:20~ ・学科試験および実技試験の採点</p> <p>・一日の中で気づきや反省などの共有</p>
<p>2月7日(金) 8:30~15:00</p>	<p>【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】</p> <p>08:30~ ・ヒアリング(面談)(20分/人×6人)</p> <p>・機材等の片付け</p> <p>11:30~ [昼休憩]</p> <p>12:30~ ・今後の抱負など意見交換 他</p> <p>・アンケート:Assessor+現地責任者</p> <p>14:00~ ・閉講式、記念撮影</p>

3. 講評

<増子講師>

一昨年度のSAT、昨年度のSETを経て今回はSACを実施した。電気保全2級の過去の意見からExamineeには実技試験の事前講習プログラムを実施した。その施策が奏功し、6名のExamineeの中から2名の合格者が出た。詳細に言えば、学科では3名、課題1は2名、課題2は4名が合格点であった。全体的に回を追うごとに点数は上がってきており、Examineeのスキルは上がってきたと言える。

今回は評価者認定のステップであるため、検定試験の運営については講師からは何も指示していない。チーフはAssessorの中から他薦で選出され、6名のAssessor全てが能動的な動きをしていた。それぞれ補完・協力しあい進めていた姿からみても、この技能検定試験の運営はAssessor達で進めることが出来ると判断出来る。

成長を続ける国では作ることを優先させられがちで、設備については壊れたら直すという考え方になってしまうが、先ず元通りに復旧し、更に未然防止策を打ち、本来の設備能力を引き出し維持する考え方が不可欠となる時代が来るはずである。今回参加いただいた技能評価者の方々が、設備管理(設備保全)に関する知識やスキルを更に磨くことで、国際的に通用する評価者に成長し、将来的にはカンボジアでの技能検定試験の普及に貢献することを期待している。

<渡辺講師>

今年度は、過去2年間(SET、SAT)の集大成として、2級SET・SACを実施した。今回の実施の準備として、カンボジア国内の関係者協力の元、Examineeに対して事前対策講習を行った。本プログラムを経てのトライアルとなった今回、2名が高得点での合格を果たしたことは喜ばしいことである。

今回は、Assessorが技能評価者の中核となるべく、過去、技能向上に意欲的に取り組んでいた結果がよく現れており、検定試験では我々のアドバイス無しに、それぞれがその役割において必要と思う動きを過不足なく行っていた。このことも含め、2級SACにおいて、技能評価者職務チェック

シートなどの記載内容や行動評価、個別の面談により、総合評価を行い、6名の Assessor に求められる技能が備わっていることを確認した。これにより、カンボジアにおいて、技能検定を推進できる基盤は整ったので、今後の、カンボジアにおいての技能検定試験の定着・普及を切に願う。

最後に、本プロジェクトの実施を可能にしたすべての関係者の皆様のご尽力に拝謝する。

4. アンケート結果

<SET>

◆評価者 6 名（回答者 6 名）（※5 段階評価）

満足度： 5: 大変満足=6 人

役立ち度： 5: 大変役立つ=6 人

向上度： 5: 大変向上した=5 人 4: 向上した=1 人

継続期待度： 5: 是非とも継続すべき=1 人 4: 継続すべき=1 人 3: どちらともいえない=3 人

1: 全く継続すべきとは思わない=1 人

【改善点・提案】

- ・回路の読み方・分析についての研修をお願いしたい。
- ・毎年良くなっているため、特に無い。

【意見・感想・実施希望】

- ・空気圧システムの保全及び機械に関する職種の 3 級から 1 級までを実施してほしい。

◆受検者 6 名（回答者 6 名）（※5 段階評価）

満足度： 5: 大変満足=3 人 4: 満足=3 人

役立ち度： 5: 大変役立つ=2 人 4: 役立つ=4 人

継続期待度： 5: 是非とも継続すべき=2 人 4: 継続すべき=2 人 3: どちらともいえない=1 人

2: あまり継続すべきとは思わない=1 人

【改善点・提案】

- ・本職種の研修の継続
- ・試験前の事前研修
- ・1 週間の事前研修

【意見・感想・実施希望】

- ・電気配線
- ・電気系保全 1 級
- ・PIC (Programmable Interface Controller)及び本職種の研修の継続
- ・フィードバック制御
- ・PLC の研修

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）（※5 段階評価）

継続期待度： 5: 是非継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ご指導いただいた日本の専門家にはとても感謝している。このような研修を継続いただきたい。

【意見・感想・実施希望】

- ・新しい良い経験のため、是非この職種の研修を 1 級までお願いしたい。